

第6回クラシックを楽しむ会

2013年12月22日(日) 18:30~21:30

タイトル：歌劇「魔笛」(モーツァルト)

会場等：ザルツブルク音楽祭 2006 (2006年7月、8月)
オーストリア、ザルツブルク祝祭大劇場

楽団等：ウィーン・フィル ハーモニー管弦楽団、
ウィーン国立歌劇場合唱団

指揮：リッカルド・ムーティ

演出等：ピエール・オーディ (アウディ)、カレル・アッペル、
ジョージ・ジャラ (ホルヘ・ハラ)、田中泯

出演：ルネ・パーペ(ザラストロ/バス)、
ディアナ・ダムラウ(夜の女王/ソプラノ)、
ポール・グローヴス(タミーノ/テノール)、
ゲニア・キューマイヤー(パミーナ/ソプラノ)、
クリスティアン・ゲルハーヘル(パパゲーノ/
バリトン)、ウィーン少年合唱団団員(三人の童子)他



クリスティアン・ゲルハーヘル、ゲニア・キューマイヤー



ポール・グローヴス、ディアナ・ダムラウ

歌劇「魔笛」あらすじ

大蛇に追われたタミーノは夜の女王に仕える侍女たちに救われる。パミーナの美しい絵姿に魅せられたタミーノ。夜の女王は彼に悪者ザラストロに囚われている娘パミーナの救出を依頼。彼は鳥刺しパパゲーノと救出に向かう。ザラストロの神殿に行きタミーノとパミーナはザラストロが悪者ではなく実は高德の僧だと知る。タミーノとパパゲーノ、そしてパミーナもザラストロが課す試練に挑み見事克服。愛し合うタミーノとパミーナは祝福され、パパゲーノもパパゲーナという伴侶を得る。夜の女王は敗退しザラストロは太陽が夜に打ち勝ったと宣言する。

みどころ聴きどころ

前衛芸術家カレル・アッペルの舞台、舞踊家田中泯の振付。巨匠ムーティが指揮するウィーン・フィル。主要登場人物の夜の女王とザラストロ、タミーノとパミーナ、パパゲーノとパパゲーナの三つのペア、三人の侍女、三人の童子、それぞれすばらしい名曲の数々。

「私は鳥刺し」、「何という美しい絵姿」、「夜の女王のアリア」、「この聖なる殿堂には」、・・・

ザルツブルク音楽祭

オーストリアのザルツブルクで毎年夏に開かれるザルツブルク音楽祭はモーツァルトを記念した音楽祭。ウィーン・フィルを始め、世界のトップオーケストラ、歌劇団、指揮者、ソリストが集う世界最大の音楽祭の一つで世界中から注目を浴びている。



レジデンツ広場のグロックンシュビール

第7回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「ボエーム」(プッチーニ)

1月26日(日) 18時開場、18時30分上映開始

ティツィアーノ・セヴェリーニ指揮サンフランシスコ歌劇場管弦楽団、同合唱団

ルチアーノ・パヴァロッチェ、ミレルラ・フレーニ

2月お休み、3月以降演目未定・・・お楽しみに

ディアナ・ダムラウ(1971-)、ルネ・パーペ(1964-)

夜の女王役ディアナ・ダムラウ(ソプラノ)

南ドイツのドナウ川上流沿い田舎町生まれ。震災直後の2011年6月メトロポリタン歌劇場公演で来日※。1歳に満たない長男、ベビーシッターと母親を伴い公演会場に鳴き声が聞こえたとのこと。今年2013年12月には名誉のミラノ・スカラ座シーズン開幕公演で「椿姫」を歌っている。※ルネ・パーペも同公演別の演目出演で来日。



ディアナ・ダムラウ



ルネ・パーペ

ザラストロ役ルネ・パーペ(バス)

旧東ドイツのドレスデン生まれ。ドレスデン聖十字架合唱団時代に「魔笛」の「三人の童子」で出演。ドレスデン音楽院で学び24歳でドイツ国立歌劇場デビュー。1991年ショルティに認められ「魔笛」の「ザラストロ」役で注目を集める。艶のある重低音とたぐいまれな表現力を併せ持つ、現代で最も実力のあるバス歌手として輝かしいキャリアを築いている。

指揮と舞台

指揮



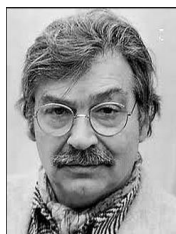
リカルド・ムーティ
(イタリア・ナポリ)

演出



ピエール・アウディ
(レバノン系フランス)

美術



カレル・アッペル
(オランダ)

衣装



ホルヘ・ハラ
(南米チリ)

振付



田中泯
(日本)

ムーティ：ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート4回、同楽団を率いて4回来日など極めて親密。そして2008年のザルツブルク音楽祭も2006年と同様アウディ演出の「魔笛」を上演。

アウディ：オランダ音楽・舞台芸術界の重鎮。

アッペル：オランダ現代美術の代表的作家。2006年死去し本公演が遺作。田中泯と親交があり、舞台装置は日本の民芸品などが動機。なお、瀬戸内海の直島に彼の屋外作品が展示されている。

ハラ：世界的に注目される多くのオペラ公演等で活躍中。

田中泯：舞踊家。映画「たそがれ清兵衛」、テレビ「竜馬伝」等に俳優として多数出演。

歌劇「魔笛」誕生の経緯

1791年、ウィーン郊外ヴィーデン劇場のシカネーダーが生活に困窮していたモーツァルトに「魔笛」の作曲を依頼。台本はシカネーダー。初演はシカネーダー自身がパパゲーノ役などシカネーダー一座の関係者が出演。「夜の女王」役はモーツァルトの義姉ヨゼーファ、そして指揮はモーツァルト。

エマヌエル・シカネーダー (1751-1812)

旅回りのシカネーダー一座の座長として、自ら台本を書き、俳優、歌手、演出家を兼任し、オーストリア、ドイツで活躍した。ウィーンの劇場支配人になり、1801年には皇帝の認可を受けて建設したアン・デア・ウィーン劇場を開館させた。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)

1791年の7月に四男が誕生、妻のコンスタンツェはバーデンで療養中、そして多額の借金を抱えた中で「魔笛」の作曲を続けた。9月30日に「魔笛」を初演し2カ月後の12月5日に35歳で病死した。



シカネーダー

あらすじ

【時と場所】

時代不詳のエジプト。

【登場人物と歌】

ザラストロ (B): 叡智と理性を重んじ全世界の平和に尽くす高德の僧

寛容な優しさを低音で朗々と歌う、合唱付きアリア「イシス、オリシスの神よ、願わくば」叡知と忍耐を与え、とアリア「この聖なる殿堂には」復讐を思う人はいない、は感動的。バスの声域より更に低い音域が必要。

夜の女王 (S): 闇の世界を支配するヒステリックな女王

夫が生前に友人ザラストロに渡した「全てを焼き尽くす太陽の世界」をザラストロから取り返すため、ザラストロを殺すよう娘のパミーナに強要する。

娘を奪われた母親の悲しみを歌うアリア「恐れずに、若者よ！」と怒りと復讐を訴えるアリア「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」はコロラトゥーラ(玉のように転がる高音域)の超絶技巧を必要とする名曲。

タミーノ (T): 異国の王子

大蛇に追われて失神。パミーナの絵姿を見せられて一目ぼれ。アリア「なんと美しい絵姿」を歌う。

パミーナ (S): 「夜の女王」の娘

ザラストロに囚われ運命に翻弄される薄幸の美少女。モノスタトスに付きまともわれても、愛していた実の母親に「ザラストロを殺さなければ親子の縁を切る」と脅迫されても負けない強さをもつ。

第1幕で男と女の気高い愛をパパゲーノと歌う二重唱「恋を感じる男たちには」、第2幕でタミーノに裏切られたと誤解し女性の深い愛情と悲しみを歌うアリア「愛の喜びは露と消え」は名曲。

パパゲーノ (Br): 愉快的な自然児

鳥を捕まえ「夜の女王」の城に献上して日々の生計を立てている。臆病者で口は軽く今この瞬間だけを大切に、食う寝る遊ぶ、女性への興味も津々。

第1幕の葦笛を吹きながら愉快地歌うアリア「おれは鳥刺し」、第2幕のグロッケンシュピールの響きに先導されて歌う「可愛い娘か女房がいれば」はいずれも有名。

パパゲーナ (S): 老婆の恰好で現れその後美しい若い娘に変身

有名なパパゲーノとの二重唱「パ、パ、パ」は恋人を得て幸福感に満ちた鳥のさえずりのよう。

モノスタトス (T): ムーア人

人格者ザラストロの下、自分勝手に乱暴な中悪党。パミーナに言い寄る。

パパゲーノの鳴らす魔法の鈴(グロッケンシュピール)の音にうかれて踊らされる短い場面は愉快。

三人の侍女 (S) (MS) (A): 「夜の女王」に仕える凄腕の侍女

三人で大蛇を倒し、気絶している美しい王子タミーノに見惚れて言い争う。

三重唱「私が見張りに残るから、あなたたち二人でお城に報告に行きなさいよ」。

三人の童子 (S) (MS) (A) : 王子をザラストロの城に導く

ザラストロが課す試練に耐えかね苦しんでいるタミーノとパパゲーノをやさしく励ます。

三重唱「お二人ともよく来ましたね」はまさに天使の歌声。

【第1幕】森の奥の岩山

大蛇に追われたタミーノは夜の女王に仕える侍女たちに救われる。パミーナの美しい絵姿に魅せられたタミーノ。夜の女王は彼に悪者ザラストロに囚われている娘パミーナの救出を依頼。彼は鳥刺しパパゲーノと救出に向かう。ザラストロの神殿でタミーノとパミーナはザラストロが悪者ではなく実は高德の僧で、心のけがれた夜の女王からパミーナを保護しているのだと知る。

【第2幕】椰子の茂る森の中、大広間、神殿の地下、火の山の深山など。最後は太陽の世界

タミーノとパパゲーノ、そしてパミーナもザラストロが課す試練に挑み見事克服。愛し合うタミーノとパミーナは祝福され、パパゲーノもパパゲーナという伴侶を得る。夜の女王は敗退しザラストロは太陽が夜に打ち勝ったと宣言する。